

東山道地誌 下野

六

和書門			
二九二〇〇	一〇五〇	一四七	一四
類	號	函	冊

內閣文庫			
二九二〇〇	一〇五〇	一四七	一四
和書	類	號	冊
架	冊	函	冊

內閣文庫			
番號	和	29200	
冊數	14	(6)	
函號	174	164	



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak



東山道六
下七野

蒙案

貝原、此、依野郡七方八千石と云々今依野郡と云々

六九三〇番

明治十五年購求

○依野舟橋伝

天妙菩薩生、路、川、是、是、古、舟橋、処、と云
白水秋山、出、秋、山川、と云

東海の依の舟橋と云々親づくれと云々

新渡戸邊

右邊より依野の舟橋と云々月日不明秋の傳人

正永信実

宗祖方角伝と云々

○定家の森 定家明神と云々貝原の伝を和らげしむ

○依野源氏傳 依野舊宅址と云々依野と云々 正永寺村



○安蘇郡

六十二村高六分七千八百四十九石三斗七升

○依野 今天的么町去一里十八丁富家多一

天明 天のふ大依野半及町つりて今能町並

大依野依野の白之 大依野の月一八子の臥

高不釜、名物也

井候馬茶場草

○星ノ宮 友依町小之平不之北産物也

○春日園寺 天の依野裏町之

在熊神若靈櫛日光山之後府分後一寺の時宗

二宿山道留有个山位碑也 与臥 中平

○依野古城址 天の今半及水

依野の理方又信玄居城大坂冬涉年山政易有之云

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

山室記

此よりいへしつる舟橋のきりふのふりつる
山室新記

かよひらんふひを今の色さるふやうそりれさる舟橋
いふくの記をいひていふそりれさるふのふり

○梁田郡 三拾三村 高一万四千三百九石四斗五升

○梁田村 上段太田八本一り 梁田とある

梁田の依り二つあり

昔織城家臣梁田隠波守出所地之
此郡上段境に舟橋川
此地今舟橋郡と云ふ九間と云

東照宮之座

中家康公

九代己貴尊
右摩多羅神

日光山權現

新宮 大己貴命

奉宮 味耜高彥根命

瀧尾 田心姫

下野 上官九郡

河内	芳賀	鹽屋	那須	足利
梁田	安蘇	都賀	寒川	

○古史記、下荒毛

風土記云上毛野下毛野兩國境渡瀨川西上毛野

東ヲ下毛野ト云川東ヲ下モトシ西ヲ上トスルテ古今例也

○上毛野ヨリ常國ハ東ニアレ國之祥上野出故畧之

○國造本紀曰下毛野國造難波高津朝御世元卜

毛野國分ヲ為上下豊城命四世孫奈良別初賜國造ヲ

○民部式曰上

○一云山少而野深土厚而草木多種生其百倍中上國之

○神名式曰神社十一座大聖

○北極出地三十七度弱 ○方境南北廿一里東西十七八

○邑里千百四拾九邑

○高合九千六百六十二石餘 内二千七百六十八石ヨ守社以

四百九千八百四十五石ヨ新田

或六千八百七十三石ヨ

○方境南武藏下総二境 東常陸隣 北陸ニ續キ

西上野二境 西南上野二組

○氣候 上野二日一人氣配変如 常得存ると云

當國温泉八ヶ所

日光 大凡噺 福和田 那須 那須郡 古町

荒湯 塩原 塩谷郡 中禰寺 河原湯 菜師湯

山形湯 中湯 笹湯 姥湯 湯湯 温泉

自立湯 等好と云

伏野中川と云ハ上下野州の境と云

又云上下野州境向依野芝嶽等ハ依野之國也河ノ下

必多嶽野之別新田郡入也

下野押領使依藤太秀郷ハ天慶中平貞盛ノカヲ守將門

ノ後ノ其首ヲ斬其功ニ依テ從四位下下野武藏兩國の守ヲ歴

了持守府將軍と云 及原氏也

日光權現

○日光山神社 當國一宮 社从千石 神主中里市正

祭神事代主尊

天武代額德帝神護景雲元鎮座大伽藍草創勝道上人

因基其後弘法慈覺二師登山堂社建立元和中

慈覺大師中興卜入初二荒山堂海登山ヨリ日光

延喜式云下野國河内郡二荒山神社名神

日光山神社

○東照大權現 御宮 社从一百石 別當大樂院 二百石

天仁度主兼帶輪王寺 御門跡 御祭礼在四月廿七日

元弘二年祭礼當山 御宮鑊七室莊嚴其義言極絶人

御佛殿 新光院 知り石在 以宮中御寺一可了早き也

新宮 社从千石・瀧尾 社从千石・本宮 社从千石

是日光山社久持道上人因基上寺有之・坊舎百八坊

日光權現

○日光山神社 常國一宮 社祇千石 神主中里市正

祭神事代主尊

天代稱德帝神護景雲元鎮座大伽藍草創勝道上人
開基其後弘法慈覺二師登山堂社建立元和中
慈覺大師中興卜入初二荒山堂海登山ヨリ日光山祇
延喜式云下野國河内郡二荒山神社名神

○東照大權現 御宮 社祇一石 別當大樂院 二百石

天仁度主兼常 輪王寺 御門跡 御祭礼在四月廿七日

元弘二年祭礼當山 御堂鑊七室莊嚴其羨言極絶

御佛殿 龍光院 知り石在 以宮中御寺(可)ヨリ早き也

新宮 社祇千石・龍尾 千石・本宮 千石

是ノ日光山社大橋道上人開基上宮有之・坊舎百八坊

寂光 権現

宣海集創

神橋中長九丈

神橋

長九丈

石山菅 蛇橋石山菅

石山菅 水原華嚴院末流山菅橋到船着川入

石鳥居

石鳥居

黒田長政奇造 韋額 後水尾院宸翰

五重塔

酒井家建立

石垣石垣大石是了見之石物

石燈籠二基

石燈籠有馬建立

石平水所 鳩修家平納 鐘樓 燈於解不秋

参到李桓撰銘

院臺 別解流珠河堂院出奇造全貌の奇巧銘

諸侯方神 献灯籠諸侯

勝道墓佛諸侯

水端水端之山菅系 燈燈之燈文文之說 意意上上有有孫

山菅橋山菅橋 是光名孫化是光

深沙王祠 山菅橋水 星宮 新橋南

御布社 皇長 地華師御布摩摩多多住住社

山菅権現 皇長 之山菅 右山菅 地華寺 意意根根堂

大猷院殿 皇光 公御社 了宮 八橋了号

○自江都至奥州下野分

江都より子館通り吉野寺十六里右河下野木迄廿五丁

○^{福成}下野野木一里乙女河原。岡々田千代原。小山丁下野。壬生通

坂下下野。壬生行。木下行。那佐原寺。廣沼野

○小山頭。芋壳新田九丁。小金井新。石橋下野。窪野

○宇津宮中奥州。白沃下野。氏家下野

○喜連川中奥州。右一鳥山先。伏久山下野。九遠東下野

・伏久山下野。石上下野。関屋下野。埴原温泉

伏久山下野。太田原下野。鍋掛下野。藤原下野。山中湯下野

湯城ノ。○芦野ノ。○下ノ。○道ノ。○邊ノ。○清水。○下ノ。○總ノ。○陸ノ。○奥ノ。○境。○白ノ。○坂ノ。○下ノ。○白ノ。○川ノ。○出ノ。
自下總界惣計
至陸奥界

○日光道 宇津宮通

○宇津宮ノ。○野ノ。○沃ノ。○下ノ。○下ノ。○德ノ。○次ノ。○而ノ。○下ノ。○大ノ。○沃ノ。○下ノ。○今ノ。○市ノ。
乃大谷乃下年大谷記云乃物倉乃今市之也

○銚石。○日光。○至。○上品。○龍。○林。○中。○禪。○寺。○乃。○溫。○泉。

○自。○日。○光。○至。○上。○品。○龍。○林。

○今。○市ノ。○板。○橋ノ。○今ノ。○市ノ。○文。○棟ノ。○下ノ。○竹ノ。○鹿ノ。○沼ノ。○下ノ。○柳ノ。○原ノ。○今ノ。○市ノ。○連。

○金。○崎ノ。○野ノ。○合。○戰ノ。○場ノ。○今ノ。○市ノ。○朽。○木ノ。○今ノ。○市ノ。○富。○田ノ。○今ノ。○市ノ。○富。○田ノ。○今ノ。○市ノ。○大。○伏ノ。○今ノ。○市ノ。

○伏ノ。○野ノ。○天ノ。○明ノ。○今ノ。○市ノ。○上ノ。○品ノ。○龍ノ。○林ノ。○自ノ。○此ノ。○地ノ。○至ノ。○江ノ。○戶ノ。
○足ノ。○利ノ。○今ノ。○市ノ。○上ノ。○品ノ。○八ノ。○木ノ。
○川ノ。○崎ノ。○今ノ。○市ノ。○梁ノ。○田ノ。○今ノ。○市ノ。○上ノ。○品ノ。○八ノ。○木ノ。

○自下總古河至岩舟出流路程

○古ノ。○河ノ。○藤ノ。○園ノ。○今ノ。○市ノ。○富ノ。○田ノ。○今ノ。○市ノ。○岩ノ。○舟ノ。○山ノ。

○三ノ。○谷ノ。○村ノ。○今ノ。○市ノ。○小ノ。○野ノ。○寺ノ。○村ノ。○今ノ。○市ノ。○葛ノ。○生ノ。○下ノ。○今ノ。○市ノ。○鹿ノ。○沼ノ。○今ノ。○市ノ。
○文ノ。○棟ノ。○今ノ。○市ノ。

○會津路 日光通了大沢不在人

大沢了。藁友一平。大衆了。高德了。大原了。藤原五了。

高原内本塩原碓。山玉所。奥初界會津道幸里之出。

○自宇津宮至常陸筑波道

○宇津宮二了羊小守度了羊。真園了了了。常陸小栗甲了羊。

○推名了。筑波

石井鬼怒川舟上。常陸川嶋了羊。黑子了。海光了。

○大馮羊了。推生了。筑波

那賢部下濱村下。總古河為戸村田了了七了十間三塩原了。

山口部小山。土塩大塚中。久本了。下總塩津中。了了。了了。了了。

山口部福島村。山口部了。了了。了了。了了。了了。了了。

南無阿彌陀佛

河内郡幸吉岡村。山口部了。了了。了了。了了。了了。了了。
若咲郡久下田。了了。了了。了了。了了。了了。

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

○足利郡 甲之村高二万九千五百七十六石

○渡ら瀬川 此河より上程下程玉境より足利の所と云
前小生所村より程猿田村御瀬村のより流る

水源は此のより半里上元相生が流る

○足利町 山下立東より上元教村より里新田より

麓に新田足利の祖足利判官義国住所

○陳營寺 戸田大炊候殿知一万石石処自江左二千石

○國府野村 足利学校舊跡今も偶古瓦と堀あり学校跡

○学校 孔子廟之社取石河原祥宗持 江都より二里半

淳和天皇長九年八月廿六日記參議少輔朝臣尊勅と奉て

草創聖像中華傳來中興僧快元以来僧侶住す

往昔國府野より快元今此の地より花の寺氏故所舊跡

今も寺名急心作葉師仏と安す

貝原の名勝記云此の地より学校あり之後永享中

上杉安房守憲實義持將軍の孫知り学校を建て彌念園と名

りて僧を呼て之師と名し其の地の学問を共ニ修集ん

と云ふ云 今程村より彌念園建長寺の僧の寺と云ふ

後弘八幡宮 而余年々廻縁是れ其氏再建河と云

中門殿大石段蔭蔭書学校大字之 聖廟門是文庫

方丈講堂 葉師仏安堂 書院

○虛空藏寺 學校東隣 大石之堂寺下至也

○足利尊氏城址 在寺西之方石山也

○金剛山鏡河寺 真言宗 寺臥石 學校西隣足利

印号大如來 用基義彌上人 足利義兼法名也

八後太師義次山内流追討關东發向以此足利九郎太史基綱

居城為旅敵 基綱女之娶男子出武部太史源義國之

後義國二子河新田大炊女義重 足利新判官義康之

義康子士總女義重之流養女也二月朔北條時政女之娶

後男子也之皆也 祈靈感有子男子出生九馬以義成之

建久元年義兼創發南郊东大寺於法名義彌之号

日七丙辰歸田大進藍之建之別城地名漫河寺之八教寺

号溝之通門之繡瓦之置而後足利尊氏公露一統後

諸堂於後及南畝待名香寄附也

寶物 虚空院 依此宗調与奉旨 日就云佛来

息心淨泥 豐色气摩法後筆 尊氏公文書 按久僧抄記也

朗詠詩歌 在河内光悦也 跡部尾法与禁札

獅子一罐 義兼子也 八歌名園 明画与氏寄附

十二月私分 富山家寄附 昆沙門天 足利尊氏公書

四行明神 弘法筆 草書心經 口筆

南畝待 義國公傳来也力

一條教良卿筆也紙 足利持氏公文書

古樂 義國公

馬鞍

天滿宮神号 義國親善

經矣圖 劉志畫

大邑貴命像 弘法化

尊氏陳用幔幕

練紙令字法華經

傳教書 天壽壽

金剛界秘苑界曼荼羅畫

義國公葵劔

東山殿胡錄

成氏義氏程虎盤網文書

武田信賴筆札

大左殿

義國義康義兼之氏陳用

日月馬印

足利家代陳用

足利義國公像

高一尺一寸四分 木像 甲由曹公安

足利公木像

高三尺餘

日

○足利八樓宮

社所古名

列高 社名古

○同 天神宮

口古名

○青蓮院

古名

古名古

足利○長林寺 洞家古名古 足利

○大巖山

古名古 足利○長林寺 洞家古名古 足利

○小股上大尊

社所古名

列高 佛平山 鷄足寺

小股村

鷄足山上列界

○行道山淨因寺

足利

行道山上列界 山登事十八丁

○義兼八幡宮

長氏社所

古名古 足利○長林寺 洞家古名古 足利

○足利上總如源義兼墳墓

正治元年二月八日卒

梳 梳崎村

○男辨山

黒髪山

黒髪山

黒髪山

産

山玉の玉髪山を於彼へ申れしと云ふはれしと云ふ

人

日光山の上界といふ山麓に甲計とて他山不詳

○女人禁制の禪壇坊谷と云 富生後同是といふ山

○巫女石

牛石

中禪寺山下

と云ふ大石名木異草

潮水多し潮八瀬と云ふ

山玉の玉髪山を於彼へ申れしと云ふはれしと云ふ

○慈悲心

山中に奇事あり夏夜に空に虹を望み

慈悲心と云ふ禪師の妙法を傳へしと云ふ

足踏石と云ふ

○新交南 栴之山 日月觀山 良外宮

○佛法信音 山中

日光山事跡 貝原菴 日光名指志 要

中禅湖西三丁一湯、剛男體湖山上中禅、為荒湯湖
○月山湖中禅、中禅湖

○温泉 津名、中禅寺、久保、奥湯、中

○日光徳町 上中下津石町、新町、出町、行町、山幸町、
源治町、石倉町、入町、松原町、大工町、川原町、
本町、七里町、板橋町、蓮花町、伊成町、
自江、今日先、宇、於、宮、通、宇、了、主、生、通、了、十、四、里

中禅、為、黒、檜、山、口、鏡、山、類
○行者岳 日光、山、為
○二子山 日、つ、り

○大真那子山 日光、山、つ、り、東、方、○湯前岳 湯前、岳、湯、山、四、里、山、
○之笠山、女、峯、女、體、也、為、高、也、○赤那木山、新、高、乾

○小真那古岳 湯前、岳、之、峯、赤、鞍、山、中、禅、寺、良

木、織、法、山、新、高、南、中、禪、水、帝、釋、山、及、妙、光、山

新、宮、社、大、己、貴、滝、尾、社、思、補、心、寺、社、味、根、高、彦、根、神

寂、光、社、下、照、姫、布、山、中、翔、琴、海、長、丁、野、畑、海、鏡、丁、
太、倉、海、之、後、湯、海、鏡、行、佛、海、之、後、丁、摩、海、行、橋、
サ、イ、湖、野、橋、赤、沼、也、之、行、
廣、吉

○補陀落山中禅寺 見、山、奥、之、り

如、子、子、同、山、橋、道、上、人、地、系、系、係、之、別、高、理、性、房、
相、殿、不、知、也、是、大、黒、天、安、至、入

以、東、十、八、番、札、也、也、中、社、見、光、之、社、中、社、
中、禅、寺、正、南、中、禅、寺、現

○湖水 帳、行、也、流、之、大、分、河、上、下、流、之、益、利、根、川、入、
以、平、湖、水、之、不、流、之、之、也、山、名、以、人、希、也、
以、比、眺、之、を、双、の、京、地、也、山、名、以、了、了、了、大、湖、之、五、丁、り

○釵山嶺 中禅寺、路、也、
珠、奇、異、也

○加牟未年淵巖上カシゴホロクニ梵字及筆跡云

○三拜光院 山上觀音堂を以て極向に觀あり

○二天斗ノ院 上ノ石和像を以て宗地也

七打院 宗光寺山ノ後七處に云飛家十太斗

華嚴院 宗光寺山ノ後七處に云飛家十太斗

綿谷川系那木山谷ニカ 田子沢川 寂光院ノ出
イナリ川入

女人禁制ノ所ナリ八丁上ノ石を以て以て華嚴の池
坂の岳ニカ 池ノ下ニカ 大谷川ニカ 二ノ院の東ニ

○裏見ノ院 荒沃ニ云ホカニ日光ノ一ノ半徑未甲ノ方

○院巖窟 窟ニカ 天降ノ源サニ交斗院のニカ 乙
ニ天斗ノ一ニカ 石切ノ像あり

○霧降院 中世宗ノ方ニカ 新松林生あり 乙ノ院

岩上ニカ 南ノ一ニカ 湯水ニカ 乙ノ院 乙ノ院
殊ニ雲雨ノ降ガキ

○如法山ニ遠松ニ云名木十八年御行ノ宮ニ龍頭院あり 乙ノ院

如法山ノ云

○龍尾龍

日光責ニ文

乙ノ方定カケ圓形ノ一ニカ 柳南山古史古法ニカ
乙ノ易カ 強敵ニカ

東照大権現英當山北ニカ 乙ノ新和光大権現臺跡大乙ニカ
大乙美ノ宝袋 乙ノ天如意宝珠 乙ノ門天ノ金甲 乙ノ天倉の
密法ニカ 乙ノ反カ 強敵ニカ 乙ノ乙ノ高麗ニ障 乙ノ麻痺障伏
武運長久 乙ノ諸カ 乙ノ孫 乙ノ榮 乙ノ壽 乙ノ長 乙ノ遠 乙ノ乙ノ
乙ノ乙ノ形 乙ノ乙ノ今 乙ノ般 乙ノ禮 乙ノ後 乙ノ結 乙ノ小 乙ノ成 乙ノ乙ノ乙ノ

持てるは是てあるは仍て流るるまのや日わ品様
おかけあるも

東照宮へ流るるまの強敵一可造二造ありは七十の造一程
残るすりしとありめめと流るるまの造一可造ありは七十の造一程
本年は宿光の生天松山花畑の産ありし若き年の海の前より
瑞妙とて流るる下なる程有るありしと流るる上なるの光る
容易下りしとあり早しとて上なるありし

右強敵見光貴と稱し御別所しし不中寺貴れ
何れ持持おの貴造良とて強貴るるしとて不中寺
町方ししとあり地不中寺初て年とて人
御宮 御靈屋へ御代系大各流るる貴の東宮ありし
地元のれありと強貴るるしとて不中寺のありし
長新待しとありとありし

○出流山満願寺千手院 志願寺 約端村 佐々木村
本寺子弘法地二天祥の大衆とて自然石刻立像後向

深山勝道上人草創ハ百武帝天年年中と坂末十七鳥乳不
觀音尊 大日尊 弘法尊 胎門とて不中寺容易と入難とあり
別堂天尊不動尊 普賢尊 毘沙門尊 大菩薩尊等ありし
右尊後一丈許の階梯とて臨む巖石交雑也大衆宛
何れ女人禁制大師嚴谷とて弘法自彫刻也所流法佛
彫りありし洞宮入りし燦爛とて輝しとありし
或は此中岩尊尊皆赤い檀乳石の大いなり若くしてありし
しとありしとありし名を月鏡とて後日向の像杯とて愚妄の
出流山中間れしとありしとありしとありしとありし

河流山は岩舟山に号す古田河といふ山及び今令帝人出

わすれよむと云

詠来矢権現

新田村古田河分丁丁
地御常也御器と祀り也

願成寺 古也墓在り云

猿林寺 一向寺云依也

如意輪寺 古也墓村

華嚴寺

同山猪道夫

本村

足尾山

日光山南に地銅膽礬等出

地藏岳

西方上列界

三峯山

地蔵岳並

宝生山

口上

十二山

口上

大那山

口上上列界

○都賀郡三晃八村高十五万子五百七十七坪

○野木駅

下総中田 古河不花丁 一丁

從江都奥州日光正路

○野木明神

○飯田駅

桐山一丁

○栗ノ宮

○小山駅

新田一丁 下総鉉煉一丁

九丁方壬生道互路場へ了才十二丁壬生へ了九丁室給へ了

小山町長

南より北方廣くして田畑あり凡太廣遠より北境まで廣く
高き地を名にすとも其地一も其地を名にすとも一も貝系記にあり

○小山壩

今津波石田之成無を畿内一舉

神祖小山一軍入と云

○天祥寺 四石万年寺 小山氏後後寺、此後入
小山氏高朝、天祥寺云

○法得寺 而宗小山、上總報恩系 因基性信房

○持法寺 志云 小山 古殿中云

○下野大掾政光城趾 小山端西小山判官公代居城地云

小山氏無嗣、澤倉公其庶子、小山、後上総城之居、
正法元小山朝政播磨守護、任不

○中莖村 小山、左方 小山氏古墓在、此地、方年寺舊地、
中、申之喜、下書云

○芋壳新田 小金井、九丁、從還、中、大町、云云

○小金井駅 石橋、一、石、
石橋、一、石、
石橋、一、石、

○蓮行寺 法皇富之池

○石橋駅 菅原、一、石、
石橋、一、石、
石橋、一、石、

○壬生城 當城主 鳥居候 三方石 從江都廿四里

尚城元北系持慶長六日根野織部正吉明日土門部氏、
諸候替々

○村檜神社 祭神、志考、式門、都賀郡、之、里、内、
社司、寺、内、藤原、常勝、

○大前神社 大崎明神云 口上 別當 持光院 大崎村

下総国総城郡二重内
○高倚神社 式内、今、高橋明神 高橋村

祭神、天萬尊、天鏡尊 神主持、田、美濃守

石

山

栗野 日光 コフカ原

石 山 日光 コフカ原

足尾 庚申山

○醫王寺 壬生 石

○壬生川 石川 石 小川 石

○萃見岡 室八海の邊 石 石 石

○室八嶋 惣社村 壬生 石 石 石

・室八海神社 下惣社 石 石 石

無戸室 石 石 石 石 石

石 石 石 石 石 石

石 石 石 石 石 石

石 石 石 石 石 石

石 石 石 石 石 石

石 石 石 石 石 石

石 石 石 石 石 石

石 石 石 石 石 石

石 石 石 石 石 石

石 石 石 石 石 石

いふは元皇の御子御子なる意の類と云ふは海之の御成
内并後代候日光 所社系の本は此の事と云ふ

今これ八宮の八鴻も表れり類ふも老の事なれば

○慈覺大師秋圓仁の生氏當郡の人一人皇十代崇神帝の
皇子豊城入彦東國の治其後胤と云延暦十三年十廿二
傳教の門に入承和五入唐 仁壽四延暦寺座主と成貞觀
六正月十四日逝七十一

○千葉助居住地小金井寺及赤系村

○霸堂 石橋地蔵院

正平中戦死の若と葬り塚に翁の像と云ふ力の額と云はれ
又この額と云ふ来れり

○富田翁 松原の日光道へ大依りり大依り安蘇郡

○二本松川 出川

○如意輪寺 富田 石田

○大平山大中寺 曹洞禅系 曹洞禅系 世三富田大中寺

○岩船山高勝寺蓮華院 富田内 依りり

高山祖の軸先のまゝ九十二回往來岩船の長生なる大を

○古河 方々を連ねる七行高坂の町へ九に入張川後河

丁半後園丁半岩舟山と云ふ石階八丁半と云ふ山
丁半の谷村少後寺村丁半後坂降草生村村子河
降地多岩山をりり世余町丁半出流村と云ふ

○大平山 岩舟山ノ麓、朽木道子任通古家辺ヨリ曲ニ

○大平權現祠 平井村 此大平山ノ天狗多シ 社伝平石別爲ウキリ強ク禁ス

中地唐室宗廟并
延喜式大神社あり一と云日頃延之輪明神と云
今其地を源江島常庵と云祠と云

○信行寺 比叟山麓 平井村 留川山城守ト云人出知云

○三峰明神 別爲光源院云云 留川氏累代石碁也

○金剛寺 禪十石留川村

○持明院 云云 十石 口本 ○決心寺 禪十石 口本

○榮峯寺 禪 中石 口本

○國分寺 國府村 小山島

中石 兼師佛 以基地 天平九年ノ草創

○大別院 山伏 辰二重 堀込村

○朽木沢 合戦場ノ寺前 朽木ノ富田ニ

○岩蓋川 大河ニ

○系通寺 云云 中石 朽木 ○朽木權現

○小室八幡 社伝十石云 ○華藏寺 十石 梅沢

○法徳院 中石 中村 當岳光寺ト云別爲別建立

○合戦場宿 全橋ノ下世丁 合戦場ノ橋本ノ下

○金崎宿 那佐東ノ下平三丁 全橋ノ下ノ下世地社村宿也

○榎木 全橋ノ下世丁 麻沼ノ下世丁

○奈佐原宿 麻呂入一ノ年 壬生一ノ年 如流五 ○光明寺 大石名塚

○麻沼宿 文攝一ノ年 麻沼川 鹿沼氏古墟内外整形 今ノ存不

○東高野山威王寺 古名古ノ如沼

同基弘法

○鹿沼權現 社臥世石

○鹿沼御旅館 在之

○文揮宿 板橋宿一ノ年 從是日見臥之

板橋宿

板橋將監城趾 文揮一板橋の宿方今湖山と云

口將監親棟家有此常安廢寺地也

○板橋宿 今市一ノ年 八幡原 板橋氏自武州板橋移後

故比名宿

○古聖山 古聖村河内郡也

○大沃野 今津交通一ノ市一ノ年

並今日光山左方皆山之高東山右方高一ノ日東山也

○今市宿 壬生通一板橋宿一ノ市一ノ年 今市一ノ年

右二宿之往東は地之為高也 御旅館河内

今市町貞享乙丑年三月十日焼失

○津石宿 日光御宿一十町年幸多之少之由之影文一十所依

跡ノ尾ノ歩ノ條中釋尊ノ印ノ筆ノ測ノ市ノ

細尾ノ足尾ノ上ノ上ノ知ノ津石道ノ今市宿

今市宿

・室淵山 室淵村津石通也

津石八日光山標下町通町遊遊九ノ高野許

御宿一 十二町

肥後新記

宇治^{キリ}とてとよひてさき山ありふとて照るよりの光り
法ありなりとて深くあるすいをてもあり山すけの橋
世とて海に強ふ坂の末たれやい橋の尾の所より東
ゆつふら所とてとよふとてさき山ありとて

肥後新記

いじりのままにけりやるらぬとて思登山のさきこれあり
不紫 山ありとて思登山とてとてい下ありとて
日光山 和名とて思登山とてとて
不紫 鳥居の思登山の山ありとて思登山とてとて

○寒川郡

十二村ありとて思登山とてとて

此郡とて十村ありとて思登山とてとて
郡ありとて思登山とてとて

○胸形神社 祭神未考 武内當郡 垂内別當 殿王寺

寒川村

○阿房神社 祭神未考 今正一位 粟宮明神 都賀郡 粟宮村 神主 小野寺 教負

○河内郡 百孫村 高八丁字二百十五石七斗

○雀宮殿 石橋より半丁 魚ヶ津宮殿より二丁 宇津宮殿 (横田) 此乃横田新田あり

○雀宮神社 別當は宇津宮 或常宮院 申持宮方と稱ふと云

○薬師寺戒壇院 薬師寺村 小金井の良寺に在り

往古戒壇院大伽藍中古荒廢 醫王山 今安國寺に在り

天武朝叔願白鳳中慶帝宝字初丁戒壇と云ふ日本に

寺内謂新之處は南紀東大寺筑前鏡音寺當寺と

宝龜元八月禰德帝崩御後大政大臣子刺道鏡法師

下野詣りてれい寺別當殿といふと奉四月此地に焼

○道鏡法師家 日景就興寺在 當寺善提樹と云ふ

神あり此後乃と云ふいやは衣と云ふの衣の里人 道真准后

○宇津宮釋 善長御道雀宮二里と丁至白沢取之里或二丁半

内記の宇の御 高木村の地を指す 西より日光道野河と一里至日光九里河

東方乃陸界と七里御 北方奥別法皇院と九十里十町許

南方下慈界と十里御 至江都二十里或廿七里十町も

東照神君 會津山と云ふに 公廟祭文と出出跡

神若小山と發せりらと云ふと石田之成謀及の源を云ふ成是

軍と治を云ふいへん也

○城郷 當り戸田固橋候 七丁七十八百石

天山以宇津宮と云ふ岳味 永源に蒲生氏寛延下あり

此乃高城の郭門廣く奉丸四丁土人宮城と云ふ

○宇津宮町 九里八所と云 磐島^{イハシマ}の地也 或町表一里十九丁と云

新所 小石町 大里町 遠来町 引地町 石所^{イシノ} 石所^{イシノ} 石所^{イシノ} 石所^{イシノ}

地止所 後地町 松原町 由師町 七所 今山路^{イマミチ} 古町 上川町

三ヶ所^{ミカ}

○宇津宮明神 社臥 七百石 石城地 良主 〇松原町と云 紙^シと云

祭神 栴^{ササ}牟^ム人^{ヒト} 廣^{ヒロ}靈^{レイ}神^{カミ} 日光^{ニツクニ} 檀^{タン}現^{ゲン}列^{レツ}宮^{ミヤ}と云

額^{カバ}正^{マサ}一位^{イチイ}勳^{オン}一等^{イツ}日^{ニツ}光^{クニ}大明^{テイメイ}神^{カミ}

河^{カハ}之^ノ前^ノ於^ニ細^コ大^{ダイ}列^{レツ}宮^{ミヤ}宇^ウ郡^{クニ}之^ノ額^{カバ}主^{ヌシ}胤^ノ孫^ノ氏^ノ列^{レツ}宮^{ミヤ}宗^{ソウ}系^{ケイ}

九代^ク石^{イシ}碑^ヒ記^キ

○河内^{カハチ}郡^{クニ}於^ニ松^{マツ}之^ノ荒^{アラ}山^{ヤマ}社^{カミ} 一言^{イツゴン}社^{カミ} 中^{ナカ}里^リ市^シ正^{マサ}

之^ノ社^{カミ}大^{ダイ}己^ニ貴^キ命^{ノミコト} 事^{コト}代^ト之^ノ命^{ノミコト} 味^{アジ}耗^{クシ}高^{タカ}彦^{ヒコ}根^ネ命^{ノミコト}

○標^{ヒラ}第^{ダイ}ヶ^ケ原^{ハラ} 宇^ウ郡^{クニ}之^ノ額^{カバ}主^{ヌシ}胤^ノ孫^ノ氏^ノ列^{レツ}宮^{ミヤ}宗^{ソウ}系^{ケイ}

明^{メイ}社^{カミ}之^ノ前^ノ於^ニ東^{ヒガシ}之^ノ額^{カバ}主^{ヌシ}胤^ノ孫^ノ氏^ノ列^{レツ}宮^{ミヤ}宗^{ソウ}系^{ケイ}

河^{カハ}内^ノ郡^{クニ}之^ノ前^ノ於^ニ松^{マツ}之^ノ荒^{アラ}山^{ヤマ}社^{カミ} 一言^{イツゴン}社^{カミ} 中^{ナカ}里^リ市^シ正^{マサ}

之^ノ社^{カミ}大^{ダイ}己^ニ貴^キ命^{ノミコト} 事^{コト}代^ト之^ノ命^{ノミコト} 味^{アジ}耗^{クシ}高^{タカ}彦^{ヒコ}根^ネ命^{ノミコト}

後^{ノチ}接^{ツキ}邊^{ノヘ} 河^{カハ}内^ノ郡^{クニ}之^ノ前^ノ於^ニ松^{マツ}之^ノ荒^{アラ}山^{ヤマ}社^{カミ} 一言^{イツゴン}社^{カミ} 中^{ナカ}里^リ市^シ正^{マサ}

宇^ウ郡^{クニ}之^ノ額^{カバ}主^{ヌシ}胤^ノ孫^ノ氏^ノ列^{レツ}宮^{ミヤ}宗^{ソウ}系^{ケイ}

○關^{セキ}白^{ハク}村^{ムラ} 豊^{トヨ}大^{ダイ}園^{エン}所^ノ寓^{ヤウ}と云

秀^{ヒデ}玄^{ゲン}公^{キミ}教^{カウ}一^{イツ}所^ノ小^コ病^{ヤマト}二^ニ所^ノ大^{ダイ}病^{ヤマト}在^{アリ}て地^チ之^ノ味^{アジ}と云

○高^{タカ}前^ノ牛^{ウシ}房^{ハラ}長^{ナガ}之^ノ人^{ヒト}許^{ヨリ}之^ノ守^{モリ}許^{ヨリ}之^ノ守^{モリ}許^{ヨリ}之^ノ守^{モリ}許^{ヨリ}之^ノ守^{モリ}

味^{アジ}ひ^ヒ出^デて^テ英^{エイ}妙^{ミョウ}と云

又^{マタ}下^{シタ}院^{エン}園^{エン}之^ノ牛^{ウシ}房^{ハラ}長^{ナガ}之^ノ人^{ヒト}許^{ヨリ}之^ノ守^{モリ}許^{ヨリ}之^ノ守^{モリ}許^{ヨリ}之^ノ守^{モリ}許^{ヨリ}之^ノ守^{モリ}

又^{マタ}下^{シタ}院^{エン}園^{エン}之^ノ牛^{ウシ}房^{ハラ}長^{ナガ}之^ノ人^{ヒト}許^{ヨリ}之^ノ守^{モリ}許^{ヨリ}之^ノ守^{モリ}許^{ヨリ}之^ノ守^{モリ}許^{ヨリ}之^ノ守^{モリ}

又^{マタ}下^{シタ}院^{エン}園^{エン}之^ノ牛^{ウシ}房^{ハラ}長^{ナガ}之^ノ人^{ヒト}許^{ヨリ}之^ノ守^{モリ}許^{ヨリ}之^ノ守^{モリ}許^{ヨリ}之^ノ守^{モリ}許^{ヨリ}之^ノ守^{モリ}

○鬼怒川 舟渡し一白波と云ふ 宇都宮、東と南に流る
其陸界を下流へ入

其原 是山の奥に又一口と云ふ境が其後の色に原は
其色を因登しつれはも程と強て鬼怒と云ふなり

○握津 陸奥郡 以久保河原 江戸へ舟渡せる所也 其色を因登しつれはも程と強て鬼怒と云ふなり
宇都宮町又地蔵町とも云

○白澤驛 奥州街道に 氏家とあり一里半 芳賀氏城墟

○素麩地蔵堂 宇都宮郡 地蔵河内郡虎 氏家の地蔵郡に

○天開山 淨土院 大谷寺 荒針村 龍石 徳治、弘長にあり
本寺大寺の親音岩山の鑄附にあり 宇都宮にあり
坂東十九番札所 開祖不知なる或大日弘仁開創
しる地蔵堂あり大谷寺の裏にあり 宇都宮にあり
其石谷とも稱す 此地に石壁あり 宇都宮にあり 是より北岩山に

地蔵堂あり 佛堂なり

此地に大谷石あり 利しうなる岩盤形は其石の如きなり

○徳次郎驛 上野村 宇都宮にあり 大谷にあり 日光迄は其道なり

○大澤驛 今市に二里 奥州會津道北にあり 其處に二里

○多氣山 荒蕪村 宇都宮にあり 宇都宮城墟也 天正中

北条氏攻之

石部宮大谷ヨリ 宇都宮迄

○芳賀郡百千村 高九千七百七十五坪

○高田山專修寺 大内庄 高田村 高田院之也 高田流一景

後堀川帝嘉祿二親嘗上人 中江某時建立後路別

一身田三餘人 貞永元年中子貞佛上人 住持職之

高橋堂前 善提樹柳之樹 有元祖上人 植之処

・高造と大内庄との下野園司大内氏ノ居地也

大内氏ハ桓武帝後胤跡身府將軍國番 未詳也

又真園城主大内園行 久下田右衛門守 標之由山跡也

○獨股山西明寺益子邨 高田庄 高田村 高田院之也

中江高田庄彫刻 園山之日 坂東北所 寺者

早代聖武天皇十三年己草創 中九番右衛門守 高田村 高田院之也

○茂乎木陈堂 宇津庄 高田村

○真園 小守庄 高田村 高田院之也

此庄市錦名産也 高田庄 高田村 高田院之也

○大羽堂 高田村 高田庄 高田院之也

○佛頂山 高田庄 高田院之也

○高位房山 栗崎山 横倉山 大北山 高田院之也

○大前大権現 芳賀郡 二重ノ内 東郷大前社 高田院之也

○荒橙大明神 日 別為神 高田村

○延生山城興寺 下延 町 高田村 本尊地藏并新安置甚驗

○塩谷郡 百廿村高方半之百字在七年葬

○喜連川

陳嘗 喜連川氏源系江戶一世

此地は足利氏より基氏ノ子孫住居

寛永比たふ橋形氏住居是基氏ノ末

○喜連川 自氏家款下 自喜連川至作山ノ_{款市中}

喜連川款入は荒川を水路より源塩谷郡_{百廿村} 安_ノ 藤原

方へ流れは川幅字も余に宮橋も織の大成蹟と云

繁く橋杭を_二下_一 弘木_二の_一 洪水の時ハ橋

大綱と云_二 自中_一 往來_二 一_一 也

は川の_二 結_一 一_一 志_二 竹_一 大綱も_二 名_一 物也

・鳥山ノ下 福永ノ下 志_二 竹_一 一_一 也

喜連川地山名_二 蓮_一 字_二 坂_一 名_二 一_一 山_二 支_一 取_二 地_一 の_二 境_一 也

○塩原温泉 作山分入り半石上より園庭より塩原湯中

泉山六見光不七八ノ程水ノ方宮ニ温泉有塩原ノ水
故ニ塩ノ泉ト云莫名上ノ院境四ノ山ニ雲霧有之云
山ニ云云玉境ト云 塩原湯中道沼中

○龍光院 臨濟宗在邊川 長連川候普提御

○如意輪寺 在邊川 大沼小沼 蘇法柳沼等

○鹽屋木幡日光 社殿二百石 多圖舎ニ有

○氏家殿 為南廣也 氏家ノ水ヲ極光ト云又松山ト云在
邊川中

永樂坂 又孫女坂 一坊川中ノ水ニ長連川以境有

○大沈花山 小沈花山 長原界ニ在

○衣海 長原界齊州長原長原一ノ可世許許門ノ中ニ

○那須郡百九十九村高八分二百石石五斗界

○作山 在太田原一里半依久山ニ在 長洲路ニ

○陳堂 福原門道ニ在石五斗界

○伯耆川 作山小古橋架下程ノ山伯耆根山極ニ有源流

在陸ノ方ノ院也作山ノ南東ニ一里半ノ古原ノ山ニ在

長原村弟沢村河ノ物此村ニ在依久山ノ南又金原

長原見寺ノ人ノ名帳ニ云々ノ口ニ在

○太田原 在鍋掛ニ里半有也 日光ノ十二里長洲路ニ

茶而ノ東ニ小川ニ在也 茶師 別當 長祥院

○城 先祖代々領之太田原氏一ノ子置石鎮比至江都廿七里

○孫貫村 大原ノ菅野ノ名ノ人參相也

○烏山城

大久保氏之守石鏡地

在連河川下

形須与帝高取高知之名高保十之為守也

○天正寺

烏山寺前知尚造之

在連河川下

○恩田祠

烏山城下形須与帝高知之名高保十之為守也

水原云水原修賢与忠致烏山城之比高知与年嗣流也

○黒村陣營

大関氏一万八千石以知尚守也

在連河川下

○福永陣營

形須与帝子石以知尚守也

在連河川下

○芦花日

芦花九進之子十六石以知

○守田日

右田原常力石以知尚守也

○大山田

大山田村出福永之為守也

○鍋掛駅

在芦花之守

在連河川下

○湯掛川

在田原湯掛村出福永之為守也

形須川云

○因造碑

湯掛上邑 大田原東照村出

高田人所刻石 持統帝三年建碑銘云

水源口水府義公再建家上依之如新命也

寛政九年九月九年

○芦花駅

自湯掛三里 自芦花至奥原白坂三里十町是也

在連河川下

在連河川下

○遊込柳

芦花通了田端至岩根村及二三町入

田一牧植之云云

○道程遠清水 鏡山と云く棟あり

其の之の清水流る柳堤ありと云くは其の自りあり
其分の名木と云くは後世に人柳精に決定性生るれを
授けし名木といふの柳朽木と成る新く種をまき種
りて種に社あり

○涌泉明神祠 温泉も 正八幡宮 那須と市と權部と
延喜式 野州那須野温泉神社是と 神皇正統記中守

奈神大色貴命 火彦名命 那須温泉 教生名今七八所より湯平家 居甚古形を夏月
入湯ノ者多し

○高湯山月山寺

用基 捨道上人 布衣 大日如來 俗に新湯殿山と云
山上に黒檀現と稱し 那須山奥 百日精と云く 峯山也

那須と市宗 高於八幡廟ノ約と射と時新飲之傳ノ説清也
其端夫々を説れ

○延明寺

那須字あり 石壁あり

○雲岸寺 淨土宗 野河と云く 臥面と云く

と云く 延喜の細記に云く 寺ノ奥に佛頂和尚山居の所あり
豎横の大小ノ寺あり 草の産
本寺も産のややと云く あり

本寺も産のややと云く あり

○那須野 那須山ノ棟

那須野 昔元和に云く 野と云く 廣くし 今十里と云く 西十里と云く
或七里に云く 古くは古くは云く 古くは千里今の一里許 高れ
其の及るに云く 内山野のややけびのれぬ 麻の葉が云く 信実

此山の尖るにけくろく山々のよと云ふにせしむ形波の藤り

○殺生石 言ふ事耳 形波の温泉山陰に在り 中川に流る

奥陽院河之上惣妙之浦舟形波登と將北流石之化入而云 云形和尙の遺蹟也

或云陽院の中川是と形波中川とも総川とも云はる陸地津倉の 中川に下り奥州界と云はるはり云の事也

○奥州白河の二里半舟形村に所を是と云ふ事也 形波の温泉山陰に在り 中川に流る 形波の温泉山陰に在り 中川に流る 形波の温泉山陰に在り 中川に流る

○砥礪 大通り 善利殿

○鳥子岳 常陸國界 尺丈山 口上

○八溝山 口上 注還ふ丸の事 山中 園分石と云はる陸地 延喜神名式陸奥白河郡七戸内八溝山領神社に

○松木嶺 奥州金澤院

○黒岩岳 口上 延喜神名式陸奥白河郡七戸内八溝山領神社に

○山王嶺 口上 延喜神名式陸奥白河郡七戸内八溝山領神社に

○白根山 中津界 小白根 専女山 中津界

○大倉岳 奥州界 温泉山 専女山北 雪ノ山 中津界

○中山嶺

日

○上峯

日

○二所関明神

下野陸奥界

二社並入立

関東明神

室^室壽山

額立

別高

聖観寺

陸奥明神

和光山

額立

別高

豊神寺

此社多神由律考明神と云ふは四月十日之

右の二額高泉和高等

健武山神社

建部山

別當武茂山大泉院武部村

祭神大己貴命

那須郡之坐内

○三和神社

祭神大己貴命
三輪明神

神

名 青柳源光 三輪村

